

主要産地における平成30年産水稲の生育状況等について 第11報 (8月28日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成30年8月29日)

道府県	生育状況等		技術・防除・気象等関連公表資料 (自治体、気象台等公表資料の抜粋)
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等	
北海道	(生育)	<p>(全道) 茎数は少なく、ほ場間で、出穂・開花時期にばらつきが見られる。(北海道農政部 8月21日付)</p> <p>(空知) 出穂にばらつきがみられたことから、穂揃期間に時間を要し、生育はやや遅れた。(空知総合振興局 8月21日付)</p> <p>(石狩) 生育は平年並みだが、一部で出穂揃が遅れている。(石狩総合振興局 8月21日付)</p> <p>(後志) 遅速日数 - 遅2 (後志総合振興局 8月21日付)</p> <p>(根室) 生育は平年並 (根室総合振興局 8月21日付)</p> <p>(日高) 8月上旬の低温と出穂後の日照不足により茎数は停滞している。(日高総合振興局 8月21日付)</p> <p>(渡島) 出穂期は概ね平年並となったが、8月2半旬の低温傾向により開花にバラツキが見られる。(渡島総合振興局 8月21日付)</p> <p>(檜山) 生育は平年並に推移している。(檜山振興局 8月21日付)</p> <p>(上川) 生育の遅速は、平年並に推移している。(上川総合振興局 8月21日付)</p> <p>(留萌) 生育は平年並に進んでいる。(留萌振興局 8月21日付)</p> <p>(オホーツク) 生育期節は平年並み。(オホーツク総合振興局 8月21日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月25日～9月24日】 向こう1か月の平均気温はオホーツク海側で低く、日本海側と太平洋側で平年並か低い見込み。降水量は日本海側で多く、オホーツク海側と太平洋側で平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 北海道地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は日本海側とオホーツク海側でほぼ平年並、太平洋側で平年並か多い見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p>
青森	(作柄・生育)	<p>(黒石) 「つがるロマン」の籾殻は、籾長、籾幅ともに平年並で、籾長×籾幅は平年比102%と平年並であった。 「青天の霹靂」の籾殻は、籾長、籾幅ともに平年並で、籾長×籾幅は平年比101%と平年並であった。 (十和田) 「まっしぐら」の籾殻は、籾長は平年をやや下回り、籾幅は平年並で、籾長×籾幅は平年比94%と小さかった。 (地独)青森県産業技術センター-農林総合研究所 8月20日付)</p> <p>・8月15日現在の水稲出穂状況は、県全体で100%で、県全体の出穂終わりは、平年並の8月12日であった。(青森県 8月16日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月25日～9月24日】 東北地方の向こう1か月の気温は平年並か高く、降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 東北地方の向こう3か月の気温は、平年並か高い見込み。降水量は日本海側でほぼ平年並、太平洋側で多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>
岩手	(生育)	<p>・8月9日現在、県全体で8.7%の水田で出穂したとみられる。地帯別の出穂割合は、北上川上流7.3%、北上川下流9.4%、東部6.7%、北部7.8%である。</p> <p>・県全体の出穂始期(10%出穂)は7月31日頃(平年差:-3日)、出穂盛期(50%出穂)は8月3日頃(平年差:-3日)であった。出穂終期(90%出穂)は、平年より1日早い8月9日頃と推定される。(岩手県 8月10日付)</p>	同上
宮城	(生育)	<p>8月10日現在、62,027ha(水稲作付見込面積の96.2%)で出穂が確認され、本年の穂揃期(県作付見込面積の95%で出穂)は平年より2日早い8月9日となった。</p> <p>(宮城県 8月13日付)</p>	同上
秋田	(生育)	<p>(移植栽培 出穂状況調査) 各地域振興局調査による出穂期は、県北では平年より1日早い8月3日、中央では平年並の8月3日、県南では平年より1日早い8月3日であった。(秋田県 8月24日付)</p> <p>(直播栽培 直播定点調査ほの生育状況) 各地域振興局による調査では、幼穂形成期7月21日(平年差+1日)、減数分裂期8月1日(同+2日)、出穂期8月10日(同+1日)、穂揃期8月16日(同+3日)であった。本年は出穂期が平年より1日遅く、出穂期から穂揃期までの日数は6日であった。(秋田県 8月24日付)</p> <p>(山本) 8月20日現在の水稲定点調査ほ場(管内9地点)における生育状況は、穂数392本/m²、一穂着粒数80.4粒/本、m²当たり着粒数31,533粒/m²、葉数13.0、葉色34.5。(秋田県 8月28日付)</p> <p>(由利) 水稲定点調査(3品種・移植8か所平均)によると、穂揃い期のm²あたり穂数は434本(平年比91%)と少なく、一穂着粒数は73.5粒(同107%)と平年よりやや多く、m²あたり籾数は31,519粒(同97%)とやや少なくなっている。(秋田県 8月24日付)</p> <p>(仙北) 8月20日現在の管内のあきたこまちの生育状況は、穂数が402本/m²(平年比92%)、葉数は12.6葉(平年差-0.1葉)、着粒数は73.8粒/穂(平年比101%)、29,032粒/m²(平年比91%)。(秋田県 8月24日付)</p> <p>(鹿角) 8月17日の定点調査では、m²あたり穂数は485本(平年比:103%)、一穂着粒数は70.5粒(平年比:104%)、m²あたり総籾数は34,042粒(平年比:107%)とそれぞれ平年より多くなっている。(秋田県 8月23日付)</p>	同上
山形	(生育)	<p>(鶴岡田川) ・出穂状況 管内の出穂の盛期は平年より1日早い8月3日頃。平坦部では、「はえぬき」「ひとめぼれ」は8月3日頃、「つや姫」「コシヒカリ」は8月9～12日頃が出穂期。今年はお出穂後の気温は平年並みだが、今後の気象条件によっては例年より登熟が早く進む可能性もある。(庄内総合支庁産業経済部農業技術普及課 8月24日付)</p> <p>・穂揃期の生育 「はえぬき」の生育診断では、穂数が平年比102%、1穂着粒数は平年比101%で、m²あたり籾数は平年比103%と平年並。葉色は平年よりかなり淡くなっている。(庄内総合支庁産業経済部農業技術普及課 8月24日付)</p> <p>(酒田・飽海) 生育診断「はえぬき」(酒田市萩島)の出穂期は平年より1日早い8月3日で、管内の出穂盛期は平年より1日早い8月4日。しかし今年はお出穂期で「はらつき」が見られている。品種別では「はえぬき」「ひとめぼれ」「雪若丸」が8月2～6日頃、「つや姫」「コシヒカリ」が8月9～13日頃の出穂。生育診断の穂揃期の生育状況を見ると、穂数はやや少ない～平年並ですが、一穂着粒数が平年並～やや多く、m²あたりの総籾数は概ね平年並の状況。(酒田農業技術普及課 8月24日付)</p> <p>(西村山) 全粒に出穂は平年より2日程度早くなったが、平年並みの気温での登熟となった。今後の予報では日照時間は少なく、気温が高いと見込まれ、刈取り時期は例年よりやや早まる可能性がある。(西村山農業技術普及課 8月24日付)</p>	同上
福島	(生育)	<p>・農業総合センターの調査では、出穂期が平年より早まっている。</p> <p>・コンヒカリの草丈が伸びていますので倒伏に注意が必要。</p> <p>・病害虫は、斑点米カメムシ類、紋枯病の発生が多くなっている。(福島県農林水産部 8月10日付)</p> <p>・斑点米カメムシ類発生が「多い」と予想される地域「南東北、北関東、近畿」(農林水産省 8月8日付)</p>	同上

生育状況等		
茨城	<p>(水戸市 5月1日移植 7月30日現在) 主稈葉数の展開からみた生育は「あきたこまち」2日早い。「コシヒカリ」3日早い。「ふくまる」3日早い。 (水戸市 5月10日移植 7月30日現在) 主稈葉数の展開からみた生育は「コシヒカリ」1日早い。 (茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 8月12日付)</p> <p>(龍ヶ崎市 4月26日移植 8月6日現在) 主稈葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」3日早い。「コシヒカリ」3日早い。「ふくまる」3日早い。 (龍ヶ崎市 5月7日移植 7月18日現在) 主稈葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」平年並。「コシヒカリ」平年並。 (茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 8月9日付)</p> <p>・斑点米カメムシ類発生が「多い」と予想される地域「南東北、北関東、近畿」 (農林水産省 8月8日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月25日～9月24日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>
栃木	<p>・普通植の生育は平年より1～3日程度進んでいる。 ・早稲の収穫は早まる見込み。 ・イネ綿葉枯病が発生している (栃木県農政部長官技術課 8月8日付)</p> <p>(生育) ・斑点米カメムシ類発生が「多い」と予想される地域「南東北、北関東、近畿」 (農林水産省 8月8日付)</p>	同上
千葉	<p>(生育) ・7月以降、気温は高く推移しており、全体的に生育の進みはやや早くなっている。4月20日植えの「ふさおとめ」、「ふさこがね」、「コシヒカリ」の出穂期は3～4日程度早くなっている。 成熟期は早いところで「ふさおとめ」は8月10日頃から、「ふさこがね」は8月14日頃から、「コシヒカリ」は8月23日頃からと予測される。なお、「コシヒカリ」については、6月中旬の低温によって、出穂にバラつきが見られる。(千葉県 7月27日付)</p>	同上
新潟	<p>[8月20日現在の生育] ・コシヒカリの出穂期は、県平均で平年より3日早い8月3日、出穂期の葉色及び稈長は指標値「並」の状況。 ・こしひぶきの出穂期は、県平均で平年より1日早い7月26日。 (新潟県 8月20日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月25日～9月24日】 北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p>
富山	<p>(コシヒカリ) 平年に比べて草丈はやや長く、茎数、葉齢、葉色は並みとなっている。幼穂形成期は平年より1日早い7月11日となった。 出穂期は、今後、平年並みの気温で推移した場合、平年より1日早い8月2日頃と見込まれる。</p> <p>(生育) (てんこもり) 平年に比べて草丈はやや長く、茎数、葉色は並み、葉齢は0.4葉多くなっている。 幼穂形成期は、平年より3日早い7月11日となった。 出穂期は、今後、平年並みの気温で推移した場合、平年より3日早い8月3日頃と見込まれる。 (富山県 7月17日付)</p>	同上
石川	<p>(出穂期) コシヒカリは、加賀地域では7月23日頃から出穂が見られており、7月24日～30日頃と予想され、平年に比べ3～4日程度早い。・能登地域では、現在(7/27)出穂が始まっている圃場も見られ、7月27～8月1日頃と予想され、平年4～8日程度早い。 ひやくまん穀は、既に走り穂の見られる圃場もあり、前年より1～2日早く、コシヒカリの出穂期より8～10日程度遅くなると予想される。(石川県農林総合研究センター 7月31日付)</p> <p>(生育)</p>	同上
福井	<p>積算温度に基づく収穫予想日 ・コシヒカリ(5月21日植(出穂期)7月29日) 9月3日 ・あきさかり(5月1日植(出穂期)7月27日) 9月4日 (水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 8月24日付)</p> <p>(生育)</p>	同上
長野	<p>豊科定点圃場(稚苗5月15日植)では「コシヒカリ」は8月2日に出穂期。平年より7日早く昨年より2日早。 現地の「コシヒカリ」は7月末から8月3日頃に出穂期を迎えた圃場が多く、全般に、昨年より早く出穂している。 現在、平坦地の早生種は登熟中～後期で、「コシヒカリ」は傾穂終期。 (松本農業改良普及センター技術係作物担当 8月15日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月25日～9月24日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>
滋賀	<p>・7月以降気温の高い日が続く、各品種とも平年より出穂期は早く、登熟の進み具合も早い傾向にあり、成熟期は平年より数日早くなる見込み。県内ほ場の5月上旬移植「みずかがみ」では、成熟期を迎えている。 ・「みずかがみ」の出穂期は7月23日、「コシヒカリ」の出穂期は7月26日、幼穂形成期から出穂期までの期間が過去5年平均より短かった。 ・「秋の詩」の出穂期は8月12日で過去5年平均より3日遅かった。 (滋賀県農業技術振興センター 8月23日付)</p> <p>(生育) ・斑点米カメムシ類発生が「多い」と予想される地域「南東北、北関東、近畿」 (農林水産省 8月8日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月25日～9月24日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は日本海側でほぼ平年並が多く、太平洋側でほぼ平年並の見込み。 日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p>

生育状況等		
兵 庫	<ul style="list-style-type: none"> ・斑点米カメムシ類発生が「多い」と予想される地域「南東北、北関東、近畿」 (農林水産省 8月8日付) (全県共通) 葉齢の進展は平年並み。草丈は平年並み。茎数は少ない。 (生育) (県南部) 草丈が平年より長く、茎数は平年に比べて極早生種の「キヌヒカリ」では少なく、早生～中生の「きぬむすめ」、「ヒノヒカリ」では多い。 (県北部) 草丈は平年並で、茎数が多い。出穂は「コシヒカリ」で平年より早い。 (兵庫県 7月27日付) 	同上
岡 山	<ul style="list-style-type: none"> ・水稻の生育は、早生品種は高温の影響で早まっており、既に一部で成熟期を迎えている。中生品種の「きぬむすめ」は既に収穫が始まっており、高温障害に弱い「ヒノヒカリ」もこれから出穂期を迎える。 ・早生品種は、出穂や成熟が早まっており、一部で収穫が始まっている。 ・中生・晩生品種は、穂揃い期～幼穂形成期で、茎数は平年並～やや多くなっている。 (岡山県農林水産総合センター・岡山県農業気象技術連絡会議 8月24日付) (生育) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月25日～9月24日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>
広 島		同上
愛 媛		<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月25日～9月24日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p>
高 知	<ul style="list-style-type: none"> (早期稲) ・穂数はやや少なめであるが、登熟は良好で全般的に生育は順調である。極早生品種(南国そだち、よさ恋美人)の収穫がほぼ終了し、8月上旬よりコシヒカリの収穫が本格化する見込みである。 (普通期稲) ・生育は全般的に順調で、出穂は8月上旬～中旬頃になる見込みである。 (高知県病害虫防除所 8月3日付) (作柄・生育) ・高知県、宮崎県及び鹿児島県の早期栽培の作柄は、一部で平成30年7月豪雨等の影響がみられるものの、田植期以降おおむね天候に恵まれたことから『平年並み』が見込まれる。(農林水産省 7月27日付) 	同上
福 岡	<ul style="list-style-type: none"> (生育) ・7月25日現在における水稻の生育は、草丈は平年並で、茎数は農産部の夢つくしと元気つくしを除き、平年より9～19%多かった。主穂葉数は平年より0.6～1.9葉多く、生育は進んでいる。(福岡県 7月26日付) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月25日～9月24日】 九州北部地方向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 九州北部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>
熊 本		同上
宮 崎	<ul style="list-style-type: none"> (作物の生育状況 8月上・中旬) ・普通期水稻は幼穂伸長期～穂ばらみ期。 (宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 8月24日付) (作柄) ・高知県、宮崎県及び鹿児島県の早期栽培の作柄は、一部で平成30年7月豪雨等の影響がみられるものの、田植期以降おおむね天候に恵まれたことから『平年並み』が見込まれる。(農林水産省 7月27日付) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月24日～9月25日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>
鹿 児 島	<ul style="list-style-type: none"> (作柄) ・高知県、宮崎県及び鹿児島県の早期栽培の作柄は、一部で平成30年7月豪雨等の影響がみられるものの、田植期以降おおむね天候に恵まれたことから『平年並み』が見込まれる。(農林水産省 7月27日付) 	同上

注1：国及び地方自治体、出先機関、JA等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：更新箇所は赤字で示している。

参考・引用資料:

農作物の生育状況 8月15日現在(北海道 8月21日)、農作物生育状況 8月15日現在(北海道空知総合振興局 8月21日)、
農作物の生育状況 8月15日現在(北海道石狩振興局 8月21日)、農作物の生育状況 8月15日現在(北海道後志総合振興局 8月21日)、
農作物の生育状況 8月15日現在(北海道胆振総合振興局 8月21日)、農作物の生育状況 8月15日現在(北海道日高振興局 8月21日)、
農作物の生育状況 8月15日現在(北海道渡島総合振興局 8月21日)、農作物の生育状況 8月15日現在(北海道檜山振興局 8月21日)、
農作物の生育状況 8月15日現在(北海道上川総合振興局 8月21日)、農作物生育状況調査の概要 8月15日現在(北海道留萌振興局 8月21日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 8月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 8月21日)、
作況調査報告(穀穀調査)(青森県産業技術センター農林総合研究所 8月20日付)、
8月15日現在水稲出穂状況(青森県 8月16日付)、
水稲の出穂状況(8月9日現在概況速報)について(岩手県 8月10日付)、
平成30年度水稲の出穂状況について(8月10日現在)(宮城県農林水産部 8月13日付)、
作況ニュース(第7号)(秋田県農林水産部 8月24日)、
生育状況の情報(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 8月28日、24日、23日)、
稲作だより第8号(やまがた攻めの米づくり)日本一運動 村山総合支庁西村山農業技術普及課外 8月24日付)、
酒田・飽海日本一米づくり情報 第9号(酒田農業技術普及課 8月24日)、
おいしい米づくり情報第12号(庄内総合支庁 8月24日付)、
主要な農作物の生育情報 第5号(福島県農林水産部農業振興課 8月10日付)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 8月12日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 龍ヶ崎市 8月9日)、
平成30(2018)年度水稲生育診断予測事業速報No.6(栃木県農政部 8月8日)、
水稲の生育状況と当面の対策 第6報(千葉県農林水産部 7月27日付)、
水稲の生育状況と今後の管理対策(第9号)(新潟県農林水産部 8月20日)、
TACS情報第8号(富山県農業技術課広域普及指導センター 7月17日)、
平成30年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-9号)(石川県農林総合研究センター 7月27日調査)、
稲作情報No.18(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 8月24日)、
平成30年作物技術普及情報 第12号(松本農業改良普及センター 8月12日付)、
平成30年度水稲生育診断情報No.5 滋賀県農業技術振興センター 8月23日付)、
平成30年度兵庫県農業気象技術情報第4号(8月情報)について(兵庫県農政環境部 7月27日付)、
水稲(中生・晩生品種)の高温障害回避の技術対策について(岡山県農林水産総合センターほか 8月24日付)、
病害虫発生予察情報について(高知県病害虫防除所)(8月3日付)、
福岡県米麦大豆改善速報(福岡県 7月26日付)、
平成30年度病害虫発生予報第5号について(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長 8月24日付)

北海道地方こう1か月の天候の見通し(8月23日、札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(8月23日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(8月23日気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(8月23日新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(8月23日大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(8月23日広島地方気象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(8月23日高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(8月23日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(8月23日鹿児島地方気象台)、
北海道地方こう3か月の天候の見通し(8月24日札幌管区気象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(8月24日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(8月24日気象庁)、
北陸地方こう3か月の天候の見通し(8月24日新潟地方気象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(8月24日大阪管区気象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(8月24日広島地方気象台)、
四国地方こう3か月の天候の見通し(8月24日高松地方気象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(8月24日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(8月24日鹿児島地方気象台)、

「平成30年度 病害虫発生予報第6号」の発表について(農林水産省 8月8日付)、
平成30年度水稲の西南暖地における早期栽培等の作柄概況(7月15日現在)(農林水産省 7月27日付)